【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和7年1月7日(2025.1.7)

【国際公開番号】WO2024/161574
【出願番号】特願2024-514409(P2024-514409)
【国際特許分類】
C09K 3/18(2006.01)
C09D201/00(2006.01)
C09D 7/61(2018.01)
【ＦＩ】
C09K 3/18 １０４
C09K 3/18 １０２
C09D201/00 ＺＮＭ
C09D 7/61

【手続補正書】
【提出日】令和6年3月4日(2024.3.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本開示に係る撥水性被膜は、オイルが浸透している吸水性基材の表面に形成され、無機ナノ粒子と撥水撥油性樹脂とが、質量比５０：５０～９０：１０の比率で含有され、前記無機ナノ粒子の平均粒子径が２ｎｍ以上２０ｎｍ以下である。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
オイルが浸透している吸水性基材の表面に形成され、無機ナノ粒子と撥水撥油性樹脂とが、質量比５０：５０～９０：１０の比率で含有され、前記無機ナノ粒子の平均粒子径が２ｎｍ以上２０ｎｍ以下である
撥水性被膜。
【請求項２】
前記オイルが、乾性油である
請求項１記載の撥水性被膜。
【請求項３】
前記オイルが、シリコーンオイル又はフッ素オイルである
請求項１記載の撥水性被膜。
【請求項４】
前記撥水撥油性樹脂が、フッ素樹脂又はシリコーン樹脂である
請求項１～３のいずれか１項に記載の撥水性被膜。
【請求項５】
前記吸水性基材が、無機材料である
請求項１～３のいずれか１項に記載の撥水性被膜。

【請求項６】
前記吸水性基材が、有機材料である
請求項１～３のいずれか１項に記載の撥水性被膜。
【請求項７】
前記吸水性基材の表面が、２μｍ以上の算術平均粗さＲａの凹凸を有する
請求項１～３のいずれか１項に記載の撥水性被膜。
【請求項８】
前記吸水性基材が、多孔質である
請求項１～３のいずれか１項に記載の撥水性被膜。
【請求項９】
無機ナノ粒子と撥水撥油性樹脂とが、質量比５０：５０～９０：１０の比率で含有されており、前記無機ナノ粒子の平均粒径が２ｎｍ以上２０ｎｍ以下であり、かつ前記無機ナノ粒子の表面が疎水化されており、前記撥水撥油性樹脂の２５０質量％以下のオイルを有する
コーティング組成物。
【請求項１０】
前記オイルが、乾性油である
請求項９記載のコーティング組成物。
【請求項１１】
前記オイルが、シリコーンオイル又はフッ素オイルである
請求項９記載のコーティング組成物。
【請求項１２】
前記撥水撥油性樹脂が、フッ素樹脂又はシリコーン樹脂である
請求項９～１１のいずれか１項に記載のコーティング組成物。
【請求項１３】
無機ナノ粒子と撥水撥油性樹脂とが質量比５０：５０～９０：１０の比率で含有され、前記無機ナノ粒子の平均粒径が２ｎｍ以上２０ｎｍ以下である撥水性被膜が表面に形成されている
吸水性材料。
【請求項１４】
更に、オイルが浸透している
請求項１３記載の吸水性材料。
【手続補正３】
【補正対象書類名】要約書
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【要約】
撥水性被膜は、オイルが浸透している吸水性基材の表面に形成され、無機ナノ粒子と撥水撥油性樹脂とが、質量比５０：５０～９０：１０の比率で含有されている。